

平成21年12月1日

株式会社 但馬銀行

投資信託「H S B C インド・インフラ株式オープン」  
の取扱開始について

株式会社 但馬銀行(頭取 倉橋 基)は、より多くのお客さまのニーズにお応えするため、平成21年12月1日(火)から、新たな投資信託商品の取扱いを下記の通り開始しますのでお知らせいたします。

記

商 品 名	H S B C インド・インフラ株式オープン
商 品 分 類	追加型投信 / 海外 / 株式
委 託 会 社	H S B C 投信株式会社
信 託 期 間	原則、無期限
申 込 単 位	自動けいぞく投資コース：1万円以上1円単位 定時定額：1万円以上5千円単位
手 数 料 等	お申込み時 申込手数料 お申込受付日の翌営業日の基準価額に3.675% (税抜3.5%) の率を乗じて得た額とします。 保有期間中 信託報酬 純資産総額に対して年1.995% (税抜年1.90%)の率を乗じ て得た額とします。 その他の費用 (1) 有価証券売買委託手数料 / 外貨建資産の保管費用 / 借入金利息、融資枠設定に要する費用 / 信託財産に関する租税、信託事務処理に要する費用、受託会社が立替えた立替金利息等 (2) 投資信託振替制度に係る手数料および費用 / 法定書類の作成、印刷、交付および届出に係る費用 / 当ファンドの受益者に対して行う公告に係る費用 / 法定書面の作成、印刷、交付に係る費用 / 監査報酬および法律顧問、税務顧問に対する報酬および費用等((2)の項目については純資産総額に対し上

<p>手 数 料 等</p>	<p>限年0.2%としてファンドより支払われます。)  (その他の費用の上限額については、事後的に発生するものがあるため表記できません。)</p> <p>換金時  換金手数料  ありません。</p> <p>信託財産留保額  ご換金申込受付日の翌営業日の基準価額に0.5%の率を乗じて得た額とします。</p> <p>手数料等の費用総額については、事後的に発生するものがあること、また運用状況等により変動するため表記できません。  詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「手数料等及び税金」をご覧ください。</p>
<p>ファンドの特色</p>	<p>H S B C インド・インフラ株式マザーファンドへの投資を通じ、主としてインドの証券取引所に上場するインフラ関連株式を投資対象とします。(その他の取引所または、取引所に準ずる市場で取引されている企業の株式等も投資対象とすることがあります。)</p> <p>H S B C 投信が属するH S B C グローバル・アセット・マネジメントでは1つの投資決定方法に偏ることなく、景気サイクル等の分析(トップダウン)と企業分析(ボトムアップ)を併用し、銘柄を厳選したうえで、ポートフォリオを構築します。</p>
<p>ファンドのリスク</p>	<p>当ファンドは実質的に外国株式を投資対象としています。当ファンドの基準価額は、実質的な組入株式の値動き、為替相場の変動等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込むおそれがあります。</p> <p>したがって、ご投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金が割り込むことがあります。</p> <p>当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「株価変動リスク」、「信用リスク」、「為替変動リスク」、「流動性リスク」、「カントリーリスク」、「投資対象国における税制変更に関するリスク」などがあります。</p> <p>詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。</p>

## 投資信託に関する留意点

投資信託は預金保険機構、保険契約者保護機構および投資者保護基金の保護の対象ではありません。

投資信託は元本および分配金が保証されている商品ではありません。

但馬銀行は販売会社であり、投資信託の設定・運用は運用会社が行います。

投資信託ご購入の際は契約締結前交付書面（投資信託説明書 交付目論見書）により必ず内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

契約締結前交付書面（投資信託説明書 交付目論見書）は当行本支店にご用意しております。

販売会社

商号等 株式会社 但馬銀行

登録金融機関 近畿財務局長（登金）第14号

加入協会 日本証券業協会

以 上

<お問い合わせは> 0120-164-230（フリーダイヤル）

受付時間 / 9:00～19:00

（土・日・祝日のほか、1月1日～3日、12月31日は除く）